

設問1-4

(セミナーを受講されて、何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)

子育てを改めて振り返って考えることが出来た。

自分に甘く子どもに厳しい母であることの反省をする。

子育ては修業という意味...自分自身で振り返ってもう一度心新たに子育てを頑張ろうと思います。

・「親は自分が出来ないことは子どもに押し付けない」

つつい自分が出来なかったことを子どもたちに期待して色々と言ってしまいましたが、親が変わっていくことが大切だと思いました。

・「目標をきちんと決めて一度決めたならなるまで頑張る」

何をするにしても目的意識を持ってすることが大切だと思いました。

自分(親)を見つめ直す(振り返る)良い機会を与えてくださってありがとうございました。

親の背中を見て子は育つ、親も夢を持って生きていきたいですね。

5日間で親も子離れしたいです。

親としての自分を考え直さないといけない部分があることに気がきました。

子どもを信じて待つ...ということが出来てないなぁと感じました。どうしても気付いた時にすぐに口に出してしまうので、もっと大きな心で見守ってあげられるようにしたいです。

少し大人が子育てについて話をしたいと思います。どうしても...感覚が違う場合があるように思うから...

親として子育てについて家庭で子どもにどう接するべきかを改めて考えさせられた。子どもの自立を願っているながら、子どもの自立を阻んでいた自分に気付かされた。

「親の言うことを聞かないが、言動を真似る」

本当に最近の我が子の状態です。私自身に厳しくしないといけないと思いました。子どもの話をよく聞くところから始めたいと思います。

親自身が強くなければ強い子どもを育てることは出来ない。

愛する子どもだからこそ、子どもを信じ見守り距離を取ることも大切。

育児は育自と言いますが、改めて自分を見つめ直し感謝を持って人と接することの出来る自分になりたいと思いました。

改めて、子どもの家庭における教育について考えさせられました。子どもと正面から向き合い共に成長していきたいと思います。

「他人や子どもは変えることはできないが、自分は変わることが出来る」この言葉を心に置いて、自分(親)も子どもも良い成長が出来たらいいなと思いました。

ビデオを見ていろいろと反省することが多かったです。子どもをついつい甘やかしたり、失敗をさせないようにと手出し口出しも多かったように思います。これは子どもの自立を妨げることにつながっていますね。子育ては修業という言葉聞き、親も楽なことばかりの子育てはいけませんね。子育てを通し、親自身も修業し自立していけるよう心掛けていきたいと感じました。

子離れ、親離れ

いつも口うるさく言っていますが、子どもを信じて待つこと、見守って本人が自覚を持つことが大切だと改めて思いました。

私自身が成長しなければならぬと感じました。

目先のことをガミガミ言うだけでなく、生き方において大切なことは何かを伝えられるようになりたいと思いました。

子育てでは、いつも自己嫌悪になるばかりですが、このような事業を行ってくださる方が尾道にいてくださるということで励まされます。本当にありがとうございます。

子どもに接する方法、子離れ、親離れについてこれからも良く考えてみたいと思います。

ビデオを子ども達にも見せてほしいです。

親が1本筋を通して目標を決め、それを達成させることが必要だと思いました。

子どもの行動に関しては、口出しをせず、自分で考えさせて見守るべきだと思いました。

日々の生活の中で、いつも子供に『早く、早く』と口うるさく言っていることにとっても反省をしました。

親として子どもにしてあげられること、それは沢山の経験をさせてあげること、そこから感動をし、それを見守ること...かな?と思いました。

「子どもは親の言う事は聞かないが、親の言動はいつの間にか真似する」『ハッ』っとしました。反省することばかりでした。

最後にドロシー・Dホルトさんの「子ども」という詩。まさにその通りです。子どもとの接し方、私が変われば息子も変わりますね。

ありがとうございました。

設問1-4

(セミナーを受講されて、何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)

日常生活の中では、かなり難しいと思いますが、今日学んだことに近づけるように、私自身、親が川奈々ければならないと思いました。100km当日まで、親が変わり子どもの成長につながる様頑張っていきたいと思います。

いつもいつも思うのですが、セミナーを受ける度に親の私も成長しなくてはと思います。今回、またその思いを新たにする機会を与えていただいたと思っています。ありがとうございました。

子どもを信じてやりたいが、待てずについ手出し、口出しをしてしまうのを反省。待つことは大切だと思いました。

他人と過去を変えることはできないが、自分(親)が変わることは出来る。というのは上の子で身をもって感じた事で本当にその通りだと思います。

苦しんでいる我が子を見ていることに自分が耐えきれなくて手を差し伸べてしまうのも、日々の中で「確かに」と思い当たる事が多々あります。一足飛びに親の鑑にはなれませんが、日々悩みながら少しずつでも本物の親になれたらいいと思っています。

子どもを甘やかすばかりでは親も子も成長出来ない。時には突き放し、時には抱きしめることも大切。

子どもに何かをやらせようと思う時、すぐに答えを与えたり、妥協を許したり、手を差し伸べたりすることが一番最初の対応では無く、まず考えさせ、親の姿をしっかりと見せ、やり遂げさせること、そしてやり遂げた感動体験をともに喜んであげられること、大切だと思いました。

色々な方の意見を聞くことができ、勉強になりました。映画は今は薄れてしまった忘れてはいけない日本の姿を見たように思います。

初心に戻って一つずつ実行していきたいと思っています。

2度目の参加で気付いたのは、1度目の研修会とはまた違った会になり、とても驚きました。自分の気持ちが変わったのか?でも、やはり改善しなくてはならない点はたくさんあり、もう一度見つめ直してみる良いきっかけになりました。

子どもに対して、親だからとあれもこれも口出ししていたことを反省して、「見守る!」。自分で考える子になってほしい。つまづいても、また立ち上がれる子になってほしいと思いました。

当たり前なことなのに、日々の生活で忘れていたことを思い出させてくれるセミナーでした。子どもの成長を一步下がった場所から見守ること。すぐに結果を求めない。親も子どもを取り巻く大人たちも「子どもの成長を願う」ということで同じ方向を向くことが大事なのだと思います。

子どものことを心の底から信じる大切さを痛感しました。家では転ばぬ先の杖で、ついつい手出しをしたり先に良かれと思って手助けをしたりしています。見守ることは親としてはとても辛いことありますが子どもを信じ見守ってやりたいと思いました。そして、親としてもっともっと成長したいなと思いました。

子どもが親離れしようとしている時期に入ってきていると思っているところなので、母親もしっかり子離れするよう努めなければ子どもの成長を止めてしまうと実感しました。

困ったりしても、自分自身で考える、やって行ける力を子どもにしっかりと身につけさせてやりたいです。これからしっかりと意識して子どもと関わりたいと思いました。

日頃の子どもの接する態度でどんな風にしたら良いか悩むことがあります。今日のセミナーを受講して少しヒントが得られたと感じています。

子離れ、親離れの大切さ。

子どもの自立の為に親も我慢が必要。

見守ることは苦しいことだが、子どもの成長には大切なことである。

子どもに対して甘い所が多くあったと思います。これからは今日のセミナーを思い出して子どもに接していきたいと思いました。

4回目の参加で本年が最後になります。本当にありがとうございます。

毎回このセミナーを受けて思うのですが、親や家族、地域の人が真剣に取り組むことは必ず子ども達の心に届くということ。

どんなに時間や手間がかかっても得ることができるのは、子ども達が素直な心を持っているから。そこから周りの大人も学び、成長出来るんだなあと思います。

日頃の子どもの接し方を大いに反省させられました。親がしっかりした考えを持っていなければ自立は出来ないんだなと感じました。子育てにエネルギーがとても要る時代だとも思いました。だからこそ親の考え方が大きい影響を与えるということなのでしょうね。

子離れ、親離れが出来ていない状態を再認識するセミナーでした。可干渉になりすぎず、見守ることが出来る母親の姿を見て、本来の母親の優しさ、強さを子どもに感じてもらえるようにならないといけないと感じました。

設問1-4

(セミナーを受講されて、何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)

子どもからの意思で何気なく申し込みをした100km徒歩の旅でしたが、出発前からいろいろ学ぶ機会をいただきとてもありがたく思っています。後は今日の映像のように子どもやボランティアの方々を信じ、見守り、事後を共感していく覚悟が出来ました。

子どもが無事最後までやり抜ける様よろしくお祈りします。

この機会に親子共成長出来ることを願っています。

人として欠けてはいけない道徳を教わる良い機会だと思います。

過保護と愛情の違いを感じさせられ、度が過ぎる過保護はその子の良さをなくしてしまう。時に厳しい場面に遭遇したとしても、内側の良さを持っていると自然と人が集まってくるんだと感じました。

もう少し子どもを良く見て、良く聞いて、良く話そうと思いました。

今の現実に向き合って親子共に成長!!を心掛けていますが...

家事等で手を取られておろそかになったり、他の子(家庭)と比べて「うちの子に限って!」と自分たちを甘やかしていることの新たな気づきになったと思います。自分に厳しく!子どもに良いうしろ姿と見せる様に頑張りたいと思いました。

ビデオを見て毎回自分の子どもへの接し方を反省するのですが、「子どもを変えよう、成長させようと思うならまず自分が変わらないといけない」本当にそうだと思います。

先周りにして手を出すのではなく、子どもの気持ち、行動と待つとしたいと思います。大きくなるにつれて親子の会話時間が減ってくるのですが、もっと話をしないといけないと思いました。

日頃の子どもの甘えを「おの100」で何とかしていただくという気持ちがありました。親も変わらなければと改めて感じました。

去年は兄が参加させていただきました。そのさいの研修は父親が参加したので私は研修初参加でした。父母でもっと話合せて子どもへの対応を一貫させれば良かったと、今更ながら思いました。

私にはまだまだ子離れが不十分だなぁと感じています。

グループで話し合う時間があれば良かったです。他の方の意見をもう少し聞きたかったです。又、今日のことを日頃の子育てに役立てたいです。

頭では分かっているけど、実行出来ないこと。実践しながら私自身が不安になり揺らぐこと。上手くいかなど、自分以外の人のせいにしてしまうこと...

色々考える時間になりました。

甘えと優しさ...について考えていく必要があると感じています。

自分が嫌われたくなくて自分の中に閉まっておいては何も変わらないな...と通観しました。

考えさせられることが多くあり、家庭でのあり方を勉強させられます。

まだまだ子離れできずにいる自分を感じています。

今後も参加させていただき、親として成長したいと思います。

親としての在り方、子どもへの接し方等、大変参考になりました。

同じ志を持つ保護者と接する機会を持てて刺激となった。

改めて自分自身考えさせられました。

甘さと優しさを間違えていたことに気づきました。忙しさを理由にちゃんと子どもと心を通わせていなかったのではないかと...反省ばかりです。

子ども達への熱い想いが伝わってきました。

尾道の、広島の子どもの成長のお手伝いをしたいと思っています。

ボランティアスタッフと保護者とで話をする時間があればいいですね。

今日のセミナーが親として忙しさの中で忘れてしまっていたこと、大切なことを学ぶ良い機会になりました。

映画の中の母親に少しでも近づけるよう今日からも私も努力したいと思います。

大作が鍋蓋を売るまでにあった困難を乗り越えて最後に売れたときには、買う人の気持ちや周りの人の気持ちが分かるように成長していました。目標を決めて最後までやり通すこと、また、親や周りの大人たちが優しく、厳しくサポートしていくことが大切だと思いました。

グループで話し合いが出来たのは良かった。

今の自分たちの生活がすごく不自由なく生活できていることにすごく「感謝」といった気持ちにさせられました。

各家庭でのお話が聞いて『あ、うちと同じ』といったこともたくさんありました。皆、子を思う気持ちは一緒だなぁと思いました。

まだまだ自分自身、甘い所がたくさんあるなぁと「反省」させられました。

親の考え方を押しつけるのではなく、子どもが自分で考え行動できるように見守っていきたくと思います。

設問1-4

(セミナーを受講されて、何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)

現在、便利な時代の中、時間に追われた様に過ごす生活の中にもある大切さ、守り伝えていくべき人間との触れ合いの中に感じるものを親子で学んでいけたらより良い未来の自分に会えるかと思えます。

子どもには厳しくしているつもりですが、どうしても最後には「まあいいか」と親の方が折れてしまうことが多々あります。それをしないことも、親として大事なんだと改めて思いました。

親離れは少しずつ出来ているように思いますが、子離れが出来ていないのを改めて思い知らされました。子どもの成長はもちろんですが、私自身ももっと頑張らないと思いました。

他の親御さんの意見も聴くことができ良かったです。

もう少しグループディスカッションの時間を取っていただければ、より深い意見が出たと思えます。

ビデオ上映、感動しました。それに比べると、私の親としての接し方は骨のないフラフラした躰に思えました。一本筋を通すくらいの強い信念が子どもを成長させるのだと思えます。目の前のことに対処するばかりに気を囚われず10年先を見越して子どもと成長したいと感じました。

苦しんでいる子どもを見る親の辛さが痛いほど分かりました。

親もどこまで辛抱できるか...子どものため、頑張って辛抱し見守ろうと思いました。

親の在り方をいつも反省させられるのですが、時間がたてばまた元にも出っけてしまいます。常に同じ今の思いで子どもに対して接していく変わっていく努力がいるなぁと思いました。

ビデオに感動しました。見守る大切さ、改めて考えさせられました。

親の背中をしっかりと見せる...

親の言動を見て育った子どもを、今更変えることは難しい。親が変われば子どもも成長できることを知りました。

子どもを育てるのは親も修業だということを頭に入れて、子どもと一緒にこれから毎日を叱るばかりでなく楽しい日々を過ごしていきたいと思いました。

日々の生活の中で少しずつでも子どもの手本となれるよう心掛けていきたいと改めて感じました。(言葉づかい、他人への接し方など)

自分が甘やかしていることを反省出来ます。

親として子どもにどう接することがいいのか良く分かりました。子どもが困らないように1~10まで道を教えるのではなくて失敗しながら自分の力で見つけていくことが大切だということが分かりました。

親が変わらなければ子どもも変わらないということですね。「親を見れば子どもが分かる」という言葉が身にしみて良く分かりました。

忘れものをしたら可哀そうと思ってしまったり、宿題を忘れたら残されるので可哀そうとつい思いつつも手を貸してしまいます。良く考えたら大人になった時には誰も手助けをしてくれないのに...。自分で責任が持てるようにならなければいけないのに...。自分が変わろうと心から思いました。大介のお母さんになるまでは、なかなかすぐには難しいと思えますが、努力しようと思えます。

何よりもビデオが大変良かったです。

子どもを鍛えるために親がいかに厳しい覚悟があるか、いかに突き放して出来るか等々、考えさせられました。

子どもの自立を作っていくのは子ども自身というより親の意識、覚悟があるのだなと思いました。

子どもは様々な人のサポートで成長していくのだな、子どもを困らせては成長できないのだなと感じました。

「てんびんの詩」は何回拝見しても考えさせられることが多く、反省させられます。見守ること、厳しく接することは大変難しく、つい甘やかしてしまうことが多いのですが、将来の子どもの幸せのために私たち親が変わっていかねばならないことを痛感いたしました。ありがとうございました。

子どもを信じて、少し距離を置いて見守ることの大切さ、頭では分かっているつもりでも日常の中ではどうしても先々口を出してしまうことが多いということに改めて気付かされ、反省しました。

いくら「こうなさい」「こうした方がいいよ」と伝えても、子どもが実際に経験して悩んで考えて気付いたことでないと、本当の意味での身にならないと思えます。子どもが苦しむのを親も強い決断を持って一緒に苦しみながら距離を置いて見守る...そして、その苦しみを乗り越えた時にしか成長は無いのだ...と思いました。ただ、そのように背中を押す前提に

親になりきれしていない自分を再認識させられました。(特に映画で)

子どもを放任する先回りして行動する訳でなく見守ることの大切さが良く分かりました。子どもが成長するために親も成長したいと思えます。それにもっと態度や口で褒めてあげたいと思いました。

まだまだ子どもに対して甘いなど...

親離れ、子離れの為には多少の寂しさも辛さも我慢です。子どもがたくましくなるように育ててほしい。

設問1-4

(セミナーを受講されて、何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)

子どもを思う親の気持ちというものは、誰も一緒なんだと思いました。昨年も同じ様にセミナーを受けましたが親として心の引き締まる思いがします。

受講させていただく度に反省するのですが、子どもの成長の為に必ず親が成長しないといけない、つつい放っておけず先回りし手を出してしまいがちですが、適切な距離をもって子どもと接することを常に心掛けていければ...と思います。

「てんびんの詩」は多少時代の違いから異なる点もあるかもしれないけれど、私自身の子育てに反省とムチを打たせるものだった。

つい、口出しをして干渉してしまう日常ですが、子どもに目標を与えて達成するまでの過程を見守ってあげる忍耐が大切だし、子どもに力をつけさせるのだらうと思った。

子どものために親が自立しなければいけないことが分かった。

親離れが必要。

子どもの教育について考える良い機会になりました。

多くの同世代の子どもを持つ親御さん達と様々なお話をすることが出来て有意義な時間を過ごすことができました。

子育ては親育ち、今日このセミナーに参加して改めて親の成長なくして子の成長は無いのだなと感じました。

待つことのできる人間になっていきたいと思いました。

ビデオを見て子どもとの接し方、話し方の見本になったような気がします。

子どもは親のやることを見ながら成長すると思います。

子どもに対する態度、対応で反省する点が多いと改めて思いました。このビデオを見たり、セミナーの内容を応用しないと...と毎日思うけど、それを続けていくのは本当に難しい。

最後に団長が言われたように、ゴールした時の感動を忘れないために家庭での接し方に気をつけないといけないと改めて思いました。最初は子どもに「いい経験を」と思って参加しましたが、今では私のために子どもがおの100に参加してくれているという感じです。一緒に成長したいです。

子どもとの接し方について考えることが出来た貴重な時間でした。

自分の甘さを再認識し、今後の家庭生活に活かしていきたいと思いました。

実際に「てんびんの詩」のビデオを見て、いかに自分が親として自立が出来ていないのかを考えさせられました。

親離れ、子離れを改めて考えさせられました。親が変わらなければ子どもも変わらないということをいつも忘れず行動したいと思います。

「てんびんの詩」を見るのは2回目、いえ、自分が小学校のころ、社会人になった時のセミナーを含めて4回目ですが、何度見ても勉強になります。なかなか続けて実行は出来ませんが、見る度に思い出し1から親がまずやって行こうと思います。

学んだことを一つずつ、ゆっくりでもいいから実践していきたい。

子どもを自立させることは、自分も自立、成長させること。難しいけれども気を付けて接したい。

こういったセミナーに多くの親が参加すれば、きっと今以上に子ども達の心は豊になるのではないかと思う。

あつという間の3時間だった。ありがとうございました。

(たくさんの意見を言ってくれたのに、上手くまとめきれず申し訳なく思います。すみません)

(欲を言えば、子どものレクの様子を少し見せていただければ...と思いました。おの100終了後どう子どもが変化したか見れるかな!?)と思ひました。)

子どもを育てるということは、親が親として育つ=成長していくことだと改めて感じました。子ども自身が失敗したり、苦しんだり、自分で考えて動いたり...。その結果が良くも悪くも子ども自身の生きていく糧になるんだと思います。現在は、映画の様に周囲の大人達が正しいことを教えるということも少なくなってきましたが、私はそういう大人になりたいです。

映画を見て、厳しい態度で見守ることも必要だということには分かりましたが、日常の生活の中で実践することはかなり難しいと思います。ここまで厳しくは出来なくても信じて「待つ」ことから始めたいと思います。

100km終えて帰って来た当初は、子どもの方が非常に高い意欲等を持っている。その中で、大人の接し方が大切であるが、実際経験を積んできた子どもに対して出来てないという家が大半だと思う。その辺りをどう対応していくか。

「てんびんの詩」を見て親の強さを感じました。

どこかで『これぐらいはいいかな』と甘やかす気持ちがあります。時間が掛っても自分で考える、分かるようにする気持ちにさせたいと思います。

子どもを信じ、成長させていくことの大事さを学びました。

設問1-4

(セミナーを受講されて、何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)

子どもの成長をと考えていたのに、後から段々と親の方が心配になって来ていて、自分たちも親として成長しなければと感じました。

このようなセミナーに初めて参加し、大変参考になりました。
もう少し早い時期に参加する機会があれば良かったと思います。

子どもが少し成長し、自分で考え行動出来ればと思い参加したのですが、子ども以上に親としての心構えとしっかりと再確認をしました。親の接し方の大切さを教えてもらった気がします。

何より、今回のディスカッションにおける自身の意見、芯の無さ、子どもとの関わりの薄さからくことを実感しました。改めて子どもとの関わりをもっと増やしていきたい。

改めて子育ての難しさを知ると共に、子どもにいろんな経験をさせてやることは良いことだなと思いました。ビデオを見て感動しました。